

530076 AirSim Child Combo

User Guide

エアシム チャイルド コンボ
ユーザーガイド



推奨使用器具サイズ

- 経鼻挿管：4.5～5.0mm
- 経口挿管：5.5～6.0mm
- ラリゲルマスク サイズ：2
- 他の声門上器具についても同様のサイズ

習得できる手技

- 輪状甲状間膜穿刺・切開
- 経皮的気管切開術
- スニッフingポジションの確認
- バッグマスク換気
- セリック手技を含む喉頭鏡操作
- 各種器具を使用した気道管理
- 喉頭鏡の使用
- ファイバー喉頭鏡の挿入
- 吸引器のトレーニング
- 経口・経鼻ファイバースコープ検査
- 経口・経鼻気管挿管

商品構成

- AIRSIM チャイルドコンボ
- チャイルド用ネックスキン ※本体装着済
- チャイルド用一体型交換用喉頭 ※5個
(1個本体装着済)
- 水性潤滑剤
- 吸着シール
- キャリーケース

ご使用になる前に

- マネキン本体は、本体底面の吸盤でをしっかりと固定してください。(吸着面の固定が不十分な場合は、付属の吸着シール吸盤に取り付け可能です。吸盤の吸着力が低下したり、変形した際、吸盤を湯煎することで復元可能です。)
- 頭部が正しいポジションにあるか確認してください。マネキン頭部は展退させることでスニッフingポジションができ、その状態を保持できる構造になっています。
- 舌の空気圧が十分であることを確認してください。ベース部のコネクタにシリンジを装着して加減圧の調整を行うことで、挿管の難易度を任意に設定できます。
- 肺バッグや胃バッグが気道、食道に取り付けられているかを確認してください。
- ご使用前には、必ず挿管器具や気道部分に付属の潤滑剤を十分に塗布してください。手技中のデバイスによる損傷が軽減されます。

NLS 日本ライトサービス株式会社
Nihon Light Service, Inc.

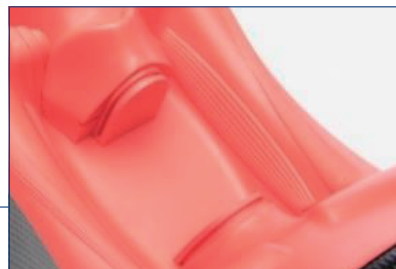
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1

☎ 03-3815-2354 ☎ 03-3818-6843 ✉ igaku@nlsinc.co.jp 🌐 www.medical-sim.jp

消耗品の交換手順について

- 交換用喉頭はトレーニングごとに交換するように設計されています。

1. ネックスキンを取り外し、使用済の交換用喉頭を取り出せるようにします。
2. 交換用喉頭を取り外し、廃棄してください。
3. 新しい交換用喉頭を喉頭固定部位に合わせ、押し込んでください。交換用喉頭と固定部の4か所の凹凸が隙間なく合っていることを確認してください。
4. ネックスキンを巻き付ける際は、スキンをベース底面の隙間に通し、喉頭がしっかり覆われかつ喉頭の輪郭がわかるように取り付けてください。



お手入れとメンテナンスについて

- 清潔で乾燥した場所に、熱及び直射日光を避けて保管してください。金属、溶剤、油及び強力洗剤との接触は避けてください。またご使用になられないときは、収納用キャリーケースに入れて保管をしてください。
- AIRSIM シリーズの気管部分は温水で洗うことができます。中性洗剤又は酵素洗剤も各メーカーの使用上の注意に基づき、規定希釈に限り使用できます。洗剤は、肌や粘膜に刺激のないものを使用してください。
- 本製品を洗浄する際、グルタラルアルデヒド（Cidex など）、エチレンオキシド、フェノール系洗剤及びヨウ素を含む殺菌剤、消毒液、化学薬品は使用しないでください。それらの物質は本製品の素材が吸収しやすいため、使用者の人体に危害を及ぼすおそれがあり、製品の劣化の原因にもなりますので絶対に使用しないでください。万一、上記のいずれかの物質を使用した場合、本製品の使用を直ちに止めてください。
- COVID-19 の大流行を受け、製品が完全に除菌されていることを確認するために以下手順を推奨しています。アルコールスプレー（75%以上）を使用し、汚れを拭き取ってください。3～4回繰り返すことでウイルスを完全に死滅させることができます。

保証

- TruCorp 社は物質上及び製造上の瑕疵がない場合において、購入日から1年の間は十分なサービスを提供することを保証します。TruCorp 社は、出荷日に猶予期間を加えた日を保証開始日とします。これにより顧客は最長期間の保証を受けることができます。
- 製品に不備がある場合、製造元にて評価を行いますので連絡の上、返送してください。
- 顧客からの口頭又は書面による事前の通知により、TruCorp 社のカスタマーサービス部門にて Authorised Return (AR) (返品許可証) を発行いたします。
- TruCorp 社にて検査を行い返品された商品が不良品であると判断した場合、無償にて修理又は交換いたします。
- 製品の改造または過度の熱、先端の尖った器具の使用、誤用などによる破損の事実が認められる場合、無償保証の対象となりません。